



2022年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月5日

上場会社名 株式会社ボルテージ
コード番号 3639 URL <https://www.voltage.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津谷 祐司
問合せ先責任者 (役職名) 経財本部長 (氏名) 大島 小百合

TEL 03-5475-8193

四半期報告書提出予定日 2021年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年6月期第1四半期の連結業績(2021年7月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年6月期第1四半期	1,391		222		218		224	
2021年6月期第1四半期	1,762	6.7	67		61		44	

(注) 包括利益 2022年6月期第1四半期 223百万円 (%) 2021年6月期第1四半期 41百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2022年6月期第1四半期	34.99	
2021年6月期第1四半期	7.06	7.06

(注) '収益認識に関する会計基準'(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年6月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年6月期第1四半期	3,211	2,363	73.4
2021年6月期	3,513	2,637	74.9

(参考) 自己資本 2022年6月期第1四半期 2,356百万円 2021年6月期 2,631百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年6月期		0.00		8.00	8.00
2022年6月期					
2022年6月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年6月期の配当予想は未定としております。

3. 2022年6月期の連結業績予想(2021年7月1日～2022年6月30日)

2022年6月期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想数値の算定が困難であることから記載しておりません。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年6月期1Q	6,513,675 株	2021年6月期	6,513,675 株
期末自己株式数	2022年6月期1Q	91,581 株	2021年6月期	91,581 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年6月期1Q	6,422,094 株	2021年6月期1Q	6,355,427 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さが増しております。企業収益は総じて持ち直しており、実質総雇用者所得は持ち直しの動きが見られるものの、消費者マインドはこのところ持ち直しの動きに足踏みがみられています。

なお、当第1四半期連結会計期間より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）等を適用しております。

そのため、当第1四半期連結累計期間における経営成績に関する説明については、前第1四半期連結累計期間と比較した増減額及び前年同期比（%）を記載せずに説明しております。

詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」に記載のとおりです。

当社グループにおきましては、「日本語女性向け」「英語・アジア女性向け」「男性向け」「リアイベ」「電書・動画・コンシューマ」の5区分で事業を運営しておりましたが、当面、「ファンダム^(注1)」醸成による「日本語女性向け」の再成長に注力予定であること等を踏まえ、当第1四半期連結会計期間より「日本語女性向け」「ファンダム」「英語・アジア女性向け」「男性向け」「電子コミック・コンシューマ」の5区分で事業を運営しております。

当第1四半期連結累計期間における売上は、「電子コミック・コンシューマ」が増加したものの、「日本語女性向け」「英語・アジア女性向け」「男性向け」等が減少し、1,391,687千円となりました。費用は、業務委託費用及び派遣費用の増加により外注費が増加したものの、売上減少による販売手数料の減少や広告宣伝費の減少により、全体として減少しました。その結果、営業損失は222,643千円（前年同期は営業利益67,953千円）、経常損失は218,157千円（同 経常利益61,785千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は224,710千円（同 親会社株主に帰属する四半期純利益44,896千円）となりました。

事業区分別の経営成績は、以下のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間より、事業区分を変更しておりますので、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の事業区分に組み替えて比較しております。

事業区分別の主要なタイトル名、及びその略称は次のとおりです。

事業区分	分類	主要タイトル	略称
日本語女性向け	読み物型 ^(注2)	100シーンの恋+ ダウト～嘘つきオトコは誰？～	100恋+ ダウト
	アバター型 ^(注3)	天下統一恋の乱 Love Ballad 誓いのキスは突然に Love Ring 眠らぬ街のシンデレラ 鏡の中のプリンセス Love Palace 新◆王子様のプロポーズ Eternal Kiss 魔界王子と魅惑のナイトメア 幕末維新 天翔ける恋	恋乱 誓い シンデ ミラプリ 王子 魔界 幕天
	カード型 ^(注4)	あやかし恋廻り アニドルカラース	あや恋 アニドル
ファンダム	グッズ、イベント・ライブ	ボルSHOP ボルフェス2021 VOLTAGEパスポート	— — ボルパス
英語・アジア女性向け	読み物型	Love365: Find Your Story ^(注5) Lovestruck: Choose Your Romance ^(注6)	Love365 Lovestruck
	カード型	Ayakashi: Romance Reborn	Ayakashi
男性向け	カード型	六本木サディスティックナイト	六本木

電子コミック・ コンシューマ	電子コミック	ぼるコミ otonaシンデレラ	— OCレーベル
	コンシューマ	Nintendo Switch向け「あやかし恋廻り」	—

①日本語女性向け

日本語女性向けは、「読み物型」「アバター型」「カード型」に分類して展開しております。主に「アバター型」「読み物型」が減少し、売上高は839,163千円となりました。

②ファンダム

イベント・ライセンスが減少したことにより、売上高は27,520千円となりました。

③英語・アジア女性向け

英語・アジア女性向けは、「Love365」「Lovestruck」等が該当します。主に「Lovestruck」が減少したことにより、売上高は254,970千円となりました。

④男性向け

主に「六本木」が減少したことにより、売上高は241,096千円となりました。

⑤電子コミック・コンシューマ

電子コミック・コンシューマは電子コミック（ぼるコミ、OCレーベル等）及びコンシューマ（Nintendo Switch向けコンテンツ）が該当します。

主にぼるコミ、OCレーベルが増加したことにより、売上高は28,937千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、3,211,168千円（前連結会計年度末比302,023千円減）となりました。

流動資産は、2,568,526千円（同327,652千円減）となりました。その主な要因は、売掛金の入金及び売上減少による売掛金の減少341,936千円によるものであります。

固定資産は、642,641千円（同25,628千円増）となりました。その主な要因は、投資その他の資産の増加16,583千円によるものであります。

(負債の部)

負債合計は、847,933千円（同27,411千円減）となりました。

流動負債は、735,259千円（同26,412千円減）となりました。その主な要因は、契約負債が98,186千円及び賞与引当金が68,478千円増加した一方で、未払費用の減少90,090千円、預り金の減少31,146千円、未払法人税等の減少30,866千円、その他の減少30,069千円及び短期借入金の減少15,000千円があったことによるものであります。

固定負債は、112,674千円（同999千円減）となりました。その要因は、長期借入金の減少999千円によるものであります。

(純資産の部)

純資産は、2,363,235千円（同274,612千円減）となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等によって利益剰余金が276,087千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの当面の成長戦略は、現在の基幹事業である「物語アプリ」に成長要素を取り込み「黒字基調&次の成長」を実現することです。具体的には、「アプリ進化戦略」「ファンダム戦略」「多角化戦略」の3つを実行いたします。

2022年6月期第2四半期以降は、直近の業績や事業環境の変化に応じ経営資源を集中させ、不採算事業の見直しやプラットフォーム手数料の軽減化などコスト削減に取り組んでまいります。

当面の注力ポイントとしては、引き続き「日本語女性向け再成長」と「新分野への投資」の2点となります。5つの事業を「物語アプリ」「電子コミック」「コンシューマ」の3事業に集約して運営いたします。「リアイベ」や「動画」は、単独事業でなくファンダム要素としての展開と位置づけ運営いたします。

「日本語女性向け再成長」では、「読み物型」「アバター型」といったアプリの分類ごとの課題解決に努めるとともに、アプリユーザーに対するイベント・グッズ・動画・コミック等アプリ以外の楽しみの提供や、会員ポイントサービス「ボルパス(注7)」の活用により、「日女アプリ×ファンダム」を推進してまいります。

「新分野への投資」としては、電子コミック・コンシューマ事業への投資を継続してまいります。電子コミック事業においては、自社ストア・レーベルともに、着実に増加している作品数や販路の拡大を継続しつつ、今後成長が見込まれる「Webtoon(主にweb上で楽しめるカラー縦読みのコミック)」の配信準備を進めております。コンシューマ事業においては、好調な「100恋+」からの移植タイトルの販売を拡大しつつ、初のオリジナルタイトルを2022年の発売に向け制作を進めてまいります。

なお、業績予想については、当社グループを取り巻く事業環境の変化が激しく、信頼性の高い業績予想数値を算出することが困難であるため、非開示といたします。

- (注) 1. ファンダム：作品へのポジティブな深い感情的なつながりから生まれたファン文化。当社グループのタイトルを消費するだけでなく、共感・応援するファン集団を指す。また、それらを醸成するためのアプリ外施策も指す。
2. 読み物型：ストーリーを楽しむことがメインとなるタイプのアプリ。
3. アバター型：ストーリーをメインに、アバターなどのゲーム性を組み合わせたタイプのアプリ。
4. カード型：カードの収集・育成要素を持つタイプのアプリ。
5. Love365: Find Your Story：日本語版恋愛ドラマアプリを翻訳した海外市場向けコンテンツであり、1つのアプリ内で複数のタイトルが楽しめる「読み物アプリ」。
6. Lovestruck: Choose Your Romance：SFスタジオ(米国サンフランシスコにある連結子会社)にて海外市場向けに制作した「読み物アプリ」。
7. ボルパス：当社コンテンツ共通の会員ポイントサービス。ユーザーの楽しみを増やすことでLTV(ある顧客から生涯に渡って得られる利益(Life Time Value))の向上を狙った施策。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,839,144	1,873,596
売掛金	928,141	586,204
前払費用	48,627	42,575
その他	80,354	66,240
貸倒引当金	△89	△89
流動資産合計	2,896,179	2,568,526
固定資産		
有形固定資産	24,339	24,894
無形固定資産		
ソフトウェア	38,684	45,557
コンテンツ	1,958	3,575
無形固定資産合計	40,642	49,132
投資その他の資産	552,031	568,614
固定資産合計	617,013	642,641
資産合計	3,513,192	3,211,168
負債の部		
流動負債		
買掛金	102,106	106,267
未払金	8,380	8,316
未払費用	463,699	373,608
契約負債	—	98,186
未払法人税等	35,819	4,952
預り金	47,332	16,186
短期借入金	30,000	15,000
1年内返済予定の長期借入金	3,996	3,996
賞与引当金	—	68,478
その他	70,335	40,266
流動負債合計	761,671	735,259
固定負債		
長期借入金	113,673	112,674
固定負債合計	113,673	112,674
負債合計	875,344	847,933
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,250,714	1,250,714
資本剰余金	1,216,314	1,216,314
利益剰余金	244,730	△31,357
自己株式	△100,222	△100,222
株主資本合計	2,611,537	2,335,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,446	4,639
為替換算調整勘定	15,115	16,397
その他の包括利益累計額合計	19,561	21,037
新株予約権	6,748	6,748
純資産合計	2,637,847	2,363,235
負債純資産合計	3,513,192	3,211,168

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)
売上高	1,762,914	1,391,687
売上原価	571,797	612,564
売上総利益	1,191,117	779,123
販売費及び一般管理費	1,123,164	1,001,766
営業利益又は営業損失(△)	67,953	△222,643
営業外収益		
受取利息	1,178	1,228
受取配当金	3	60
為替差益	—	1,958
投資有価証券売却益	315	134
不動産賃貸料	—	2,433
固定資産売却益	97	—
雑収入	260	168
営業外収益合計	1,854	5,982
営業外費用		
支払利息	—	321
為替差損	8,022	—
不動産賃貸費用	—	1,158
雑損失	0	16
営業外費用合計	8,022	1,496
経常利益又は経常損失(△)	61,785	△218,157
特別損失		
減損損失	—	5,648
特別損失合計	—	5,648
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	61,785	△223,806
法人税、住民税及び事業税	16,888	904
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	16,888	904
四半期純利益又は四半期純損失(△)	44,896	△224,710
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	44,896	△224,710

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	44,896	△224,710
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	737	192
為替換算調整勘定	△4,286	1,282
その他の包括利益合計	△3,548	1,475
四半期包括利益	41,347	△223,235
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,347	△223,235

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下のとおりです。

(アイテム課金)

モバイルコンテンツの収益のうちアイテム課金について、従来はユーザーがゲーム内通貨を購入した時点で収益を認識しておりましたが、当連結会計年度よりユーザーがゲーム内通貨を使用してアイテムを購入した時点以降のアイテム使用期間を見積もり、当該見積もり期間に応じて収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は98百万円減少し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ96百万円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、モバイルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(取締役に対する株式報酬型ストック・オプション(新株予約権)の付与について)

当社は、2021年9月24日開催の定時株主総会において、当社取締役、当社子会社取締役及び当社従業員に対して株式報酬型ストック・オプションの付与、及び募集要項の決定を当社取締役会に委任することを決議し、2021年10月28日に付与いたしました。

なお、その概要は以下のとおりであります。

名称	第9回新株予約権
決議年月日	2021年9月24日
付与対象者の区分及び人数	当社取締役5名 当社子会社取締役1名 当社従業員9名
新株予約権の数(個)	122
新株予約権の目的となる株式の種類、内容及び数(株)	普通株式 12,200
新株予約権の行使時の払込金額(円)	1
新株予約権の行使期間	A. 自 2022年10月28日 至 2025年10月27日 B. 自 2023年10月28日 至 2025年10月27日 C. 自 2024年10月28日 至 2025年10月27日
新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額(円)	A. 発行価格 449円 資本組入額 225円 B. 発行価格 441円 資本組入額 221円 C. 発行価格 433円 資本組入額 217円